

祝新成人!



館報
い
う
や
ま

平成 29 年 1 月 1 日 現在
世帯数 884 戸
男 1,001 人
女 1,060 人
総人口 2,061 人

● 塩原 正悟 (西桐原)

- 大人としての自覚を持ち、社会に貢献できるようにこれからの日々を過ごしていきたいと思えます。抱負としては、地元長野県のお役に立てるような社会人になりたいと考えています。
- 地域の人同士が思いやりを持った入山辺であってほしいと思えます。
- 20年間お世話になりました。これから恩返しをしていくので、今後もよろしくお願いします。

● 百瀬 嶺 (南方)

- 小学生、中学生のころ、20歳は立派で遠いもののように感じられ、憧れすらありました。しかし、いざ成人式を迎えてみると、あのとき自分が考えていたような胸を張れる人間になれている感覚はまったくありません。今までやりたかったことを恥ずかしがったり、面倒くさがったりで、かなり避けてきました。やりたいことを迷わずやれる20歳でありたいです。
- のどかで静かな環境がとても好きですが、今まで感じた唯一の不満は小さいころ身近で一緒に遊ぶ子どもが少なかったことです。子どもたちの声が響いてくるような賑やかな入山辺になればと思います。
- 多くの迷惑をかけながら20歳まで育ちました。様々なことについて頼りがち、任せきりであったと思います。大学や寮での生活で自立・自律について度々考えることがあります。まずは自分のことはできるだけ何でもできるように、そして家族を支えていけるようになります。

● 中村 純也 (西桐原)

- 成人になれた気持ちは、ただただ嬉しさでいっぱいです。抱負は大切な家族に卒業したら恩返しをしたいと思います。
- 生まれ育った入山辺がこれからも住み心地の良い地域であり続けてほしいです。
- 20年間育ててくれてありがとうございます。これからは社会人として活躍していくので見届けてください。

● 中野 志帆里 (西桐原)

- これから社会人になるので、より一層自立した心で生活していきたいと思えます。
- お年寄りや子どもを大切にす地域であってほしいです。
- 20年間育ててくれてありがとうございます。



新成人のメッセージ

1月8日に松本市総合体育館で成人式が行われました。入山辺地区では、10名(男性5名、女性5名・住民登録上)が新成人となりました。成人式に参加した入山辺地区出身の7名に今後の抱負などを聞きました!!

● 氏名 (町会名)

- 成人式を迎えた感想と今後の抱負
- どんな入山辺になってほしいか
- 家族にむけて一言

● 工藤 瑞妃 (東桐原)

- 20歳になった実感がまだありません。大人のたしなみとしてお化粧を頑張りたいです。
- 現状維持ができる程度にのんびりあってほしいです。
- これからも長い付き合いになると思うので、温かく見守ってくれると嬉しいです。

● 西澤 美咲 (舟付・宮原)

- 4月から社会人になるので責任と自立の精神を持って頑張りたいと思います。夢や目標を掲げて、これからも自分自身を磨いていきたいです。
- 自然が豊かであることと、地元で採れた美味しい野菜や果物などが大好きです。これからも野菜や果物などを作り続けてもらい、明るく元気な入山辺でいてほしいです。
- 20年間色々ありましたが、感謝の気持ちでいっぱいです。今度は私が家族を守っていけるように精一杯頑張るので、これからもよろしくお願いします。

● 柳澤 樹 (三反田・奈良尾)

- 大人の仲間入りをした実感が湧いてきました。これからもっと自立して頑張りたいです。
- 若い人が減ってきてしまうと思うので、もっと地域活性化を考えていべきだと思います。
- 改めて家族は大きな存在だと思いました。今後大切にしていきたいです。

十年ごとの敬老会

宮原地区では、10年ごとに住民全員が集まり、報徳感謝の精神に則り、先祖や先輩に感謝をし、地区が益々栄える為の敬老会を、昨年11月13日盛大に開催しました。

この会は大正13年に第1回が開催され、その後昭和11年から10年ごとに開催され、今回で10回目を迎えました。始まった経緯は、先人達が報徳会という会を作り、山を借りて木を植え、その木を売った収入で、先輩たちをもてなしたことから始まったそうです。宮原公民館には、第1回か

らの写真が掲示されており、時代の変化を見ることができ、実行委員会のお話では、少子高齢化で開催が大変になってきているとのことでした。



民生委員・児童委員が改選されました

平成28年12月1日付で民生委員・児童委員が改選されました。民生委員・児童委員は地域住民の相談・支援のボランティアとして、福祉サービスや援助を必要とする方と関係する機関とのつなぎ役を担います。任期は3年です。

町会の推薦を受けた再任5名、新任5名の計10名の方は下記のとおりです。



(敬称略) ◎は新任

- 橋倉・南方 小笠原玲子
- 西桐原 百瀬 洋子
- 東桐原 平林 八郎
- 舟付・宮原 ◎新井 絹子
- 北中部・千手・駒越 ◎新井モト子
- 三反田・奈尾・上町 ◎市川 節枝
- 原・麿所・大仏・一海 朝倉 洋子
- 大和合・牛立 ◎羽山 幸子
- 三城 前田 民江
- 主任児童委員 ◎木下誠一郎

入山辺地区防災訓練

昨年11月20日に入山辺地区防災訓練が実施されました。

今回は各町会の安否確認訓練の他に、新たに避難所を住民が主体となって設営・運営する訓練、地震による家屋倒壊を想定した救出訓練等を行いました。

また、防災に関する学習では、市の危機管理部長から熊本地震被災地での体験をもとに講話いただきました。自然災害は予測することができません。そのため、日頃



から災害を他人ごととせず、万が一の防災用品の備えや、訓練等に参加して自身の防災意識を高めていくことで、地区全体の防災力が向上していくのではないのでしょうか。



入山辺郵便局が開局100年を迎えます！

大正6年に地域住民の請願によって置局された入山辺郵便局が、今年2月11日をもって開局100年を迎えます。



←1958.11.20撮影
写真提供：堀金浩一さん

現郵便局の場所に建っていた当時の郵便局。平屋の建物で駐車場はなく、入口には自転車用のタイヤ止めが設置されていました。

1992.12.11撮影→
写真提供：堀金浩一さん



この当時郵便局前は路線バスに乗車する人が多かったため、入口に時計が設置されていました。隣にあるワイナリーはまだ共撰場でした。

入山辺郵便局 樽澤清人局長(7代目)

入山辺郵便局長を務めて3年半経ちますが、地域の皆さまにご利用いただき守られてきた伝統ある局を、これからも皆さまと一緒にやっていきたいと思ひます。またお気軽にお立ち寄りください。

中学進学に向かつて



山辺小6年
中澤 雅君

小学校6年間で、身長は約40センチ伸び、重たかったランドセルも、もう、小さく軽く思えます。長いようで短かった6年間です。今は、下級生へ委員会などの引き継ぎをしています。

来年は中学生になります。多くの住んでいるところは自転車を通うことになりました。中学では、部活動があり、スポーツの部活に入り、3年間続けてやっていきたいです。授業は、「算数」が「数学」になり、「英語」が増え、今よりも難しい勉強が多くなってきました。1年間に、何回も中間テストや期末テストがあり、小学校とは比べようにならないほど大変になっていくと思ひます。大変だと思ひけれど、数学や理科に力を入れてがんばります。不安なことも色々あります。でも、新しい中学生生活へ向かってわくわくしています。

